

学 科	保育臨床専攻	担 当 教 員	長 櫓 涼 子 (実務経験あり)		
授 業 科 目	教育相談特論	科目区分	専門科目	2 単 位	
必修・選択	必修	授業形態	講義	開 講 時 期	2 年 次 ・ 前 期
授業の主題 目 標	<p>教育相談は、幼児、児童および生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。発達状況に即し、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎知識を学ぶ。</p> <p>&lt;到達目標&gt;</p> <p>(1)教育相談の意義と理論を理解する。  (2)教育相談に必要な基礎知識(カウンセリングマインドに基づいたカウンセリング技法)を身につける。  (3)各発達期の特徴と諸問題を理解し、計画に基づいた組織的な取り組みや連携を理解する。</p>				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> <li>教育相談の理解 <ol style="list-style-type: none"> <li>シラバスを参考に授業内容と進め方、評価方法等を解説</li> <li>教育相談の定義、意義、目的</li> <li>教育相談の種類と実際(問題解決的教育相談/予防的教育相談/開発的教育相談)</li> </ol> </li> <li>教育相談の基礎理論 <ol style="list-style-type: none"> <li>教育相談を支える心理学(臨床心理学/カウンセリング心理学/学校心理学)</li> </ol> </li> <li>子どもの発達段階の理論/各発達段階特有の課題について <ol style="list-style-type: none"> <li>発達段階の理論(フロイト/ピアジェ/エリクソン)</li> <li>乳幼児期:愛着形成</li> <li>児童期:仲間関係</li> <li>青年期:同一性の確立と職業</li> </ol> </li> <li>子どもの抱える困難さ(反社会的行動/非社会的行動/特別な支援を必要とする子ども)</li> <li>教育相談の方法—① アセスメント(情報収集)の方法 <ol style="list-style-type: none"> <li>観察法</li> <li>面接法</li> <li>質問紙調査法</li> <li>検査法</li> <li>作品法</li> <li>事例研究法</li> </ol> </li> <li>教育相談の方法—② アセスメントにおける諸注意 <ol style="list-style-type: none"> <li>心構え(インフォームド・コンセント/アカウンタビリティ/秘密保持/対象との関係)</li> </ol> </li> <li>教育相談の方法—③ 行動観察の実際 <ol style="list-style-type: none"> <li>継続的観察</li> <li>焦点化観察</li> <li>自然的観察</li> <li>実験的観察</li> <li>記録の取り方</li> </ol> </li> <li>教育相談の方法—④ アセスメント面接の実際 <ol style="list-style-type: none"> <li>心構え</li> <li>面接初期/面接中期/面接後期</li> <li>言語・非言語によるコミュニケーションの理解</li> </ol> </li> <li>教育相談の方法—⑤ 心理検査の実際 <ol style="list-style-type: none"> <li>知能検査(ビネー式知能検査/ウェクスラー式知能検査/その他/留意事項)</li> <li>発達検査(質問紙による発達検査/個別式発達検査/その他/留意事項)</li> </ol> </li> <li>教育相談の方法—⑥ 心理検査の実際 <ol style="list-style-type: none"> <li>学力検査</li> <li>適性検査</li> <li>性格検査</li> <li>検査バッテリーについて</li> </ol> </li> <li>教育相談の方法—⑦ 質問紙調査の実際 <ol style="list-style-type: none"> <li>メンタルヘルス関係質問紙法</li> <li>パーソナリティ関係の質問紙法</li> <li>注意事項</li> </ol> </li> <li>教育相談の実際—① チームで行う教育相談 <ol style="list-style-type: none"> <li>組織</li> <li>多様な相談資源(人的資源)の利用について</li> <li>多様な相談資源(社会的資源)の利用について</li> </ol> </li> <li>教育相談の実際—② 相談支援の現場</li> <li>教育相談の実際—③ コンサルテーションについて</li> <li>教育相談を行う専門職者のメンタルヘルス、まとめ</li> </ol> <p>定期試験を実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容	<p>幼児の発達巡回指導、小学校での特別支援事業での経験を活かし、子どもの抱える困難さ、教育相談の方法、教育相談の実際などについて講じる。</p>				
テ キ ス ト 教 材	<p>高柳真人・前田基成・服部環・吉田武男(編著)『MINERVA はじめて学ぶ教職⑩ 教育相談』  ミネルヴァ書房/ISBN978-4-623-08526-2</p> <p>『保育所保育指針』フレーベル館/ISBN978-4-577-81423-9</p> <p>『幼稚園教育要領』フレーベル館/ISBN978-4-577-81422-2</p> <p>『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館 ISBN978-4-577-81424-6</p> <p>その他適宜資料配布。</p>				
準備学習の 具体的内容	<p>テキストおよび授業資料について予習・復習をする。</p>				
評価の方法 基 準	<p>毎授業ごとの課題達成度 (50%)  報告書 (50%)</p>				
履 修 上 の 注 意	<p>授業内容に関連して授業時間外での予習・復習、課題遂行が必要となる。  初回授業でシラバスを使用する。</p>				